

# シルバーライン施工図 作図基準

2024年 10月版

- ・シルバーライン施工図では、凡用CADとして多く使用されている『AutoCAD』を標準とする。
- ・基本的には、DWGを使用し他フォーマット形式との互換の為に、DXFを使用する。
  - 但し、DXFデータは中間ファイル形式である為文字フォント、寸法線、ハッチング、楕円、記号などではデータが完全互換出来ない場合がある為、注意を要する。
- ・データの受け渡しに関しては、USBメモリ等のメディアのほか、Eメールを使用する。
  - データは圧縮(LZH等)する事を推奨する。
  - 保管方法は、各フォルダを現場名単位で設定し、その下にタスク別のサブフォルダを作り分類する。

## 1. 基本画層

画層名	色	線種	線の太さ	印刷スタイル	印刷
001 中心線・通り芯	Red	CENTERX2 (一点鎖線)	0.05mm	Color_1	する
002 寸法・引き出し線 1	White	Continuous (実線)	0.05mm	Color_7	する
003 ボルト・ビス類	Magenta	Continuous (実線)	0.05mm	Color_6	する
004 躯体	31	Continuous (実線)	0.05mm	Color_3 1	する
005 文字	White	Continuous (実線)	0.15mm	Color_7	する
006 寸法・引き出し線 2	White	Continuous (実線)	0.05mm	Color_7	する
007 枠	blue	Continuous (実線)	0.15mm	Color_5	する
008 かくれ線	White	Hidden (破線)	0.05mm	Color_7	する
009 想像線	White	PHANTOMX2 (二点鎖線)	0.05mm	Color_7	する
010 記号	White	Continuous (実線)	0.15mm	Color_7	する
011 表題 (スタンプ)	White	Continuous (実線)	0.15mm	Color_7	する
012 図形	Green	Continuous (実線)	0.15mm	Color_3	する
013 図形	Cyan	Continuous (実線)	0.15mm	Color_4	する
014 図形	Yellow	Continuous (実線)	0.15mm	Color_2	する
015 図形	71	Continuous (実線)	0.15mm	Color_7 1	する
016 図形	111	Continuous (実線)	0.15mm	Color_1 1 1	する
017 図形	151	Continuous (実線)	0.15mm	Color_1 5 1	する
018 図形	191	Continuous (実線)	0.15mm	Color_1 9 1	する
019 図形	221	Continuous (実線)	0.15mm	Color_2 2 1	する

020 図形 ~ 027 図形 は、012 図形 ~ 019 図形 と同じとする。

027 図形

028 中心線・通り芯 ~ 054 図形 は、001 中心線・通り芯 ~ 027 図形 と同じとする。

054 図形

非表示 White Continuous (実線) 0.15mm Color\_7 しない

- ※ 1. 同じ色の部材が隣合う場合は、プロパティ内で個別に色を変更してもよい。
- ※ 2. 寸法・引き出し線の基本画層は“寸法・引き出し線 1”と“寸法・引き出し線 2”の 2 種類用意する。基本は“寸法・引き出し線 1”を使用することとする。  
なお、基本画層の順番は、編集時の混同防止の為“002”“006”とはなした配置とする。
- ※ 3. 図形の線の太さは、0.15mmとする。やむおえず、図形密度が細かく細い線を使用せざるをえない場合は、図面単位で個別に設定することとする。

## 2. 線種のスタイル

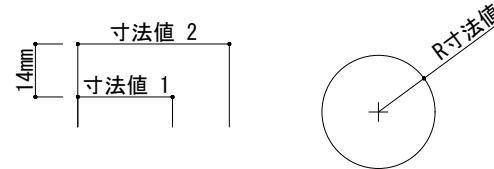
線種は以下の通り、原則として 5 種、実線 一点鎖線 点線 破線 二点鎖線とする。  
線の太さに関しては、その比率 (細線、太線、極太線の三種で比率 1 : 2 : 4) にする。

線種	外観	用法
実線: Continuous	—————	可視部分を示す線、寸法及び寸法補助線 引き出し線、破談線、輪郭線、中心線
一点鎖線: CENTERX2	- - - - -	中心線、切断線、基準線、境界線、参考線
点線: DOT	.....	見えない部分を示す。
破線: HIDDEN	-----	見えない部分を示す。
二点鎖線: PHANTOMX2	- . - . -	想像線、基準線、境界線、参考線などで一点鎖線と区別する 必要があるときに用いる。

## 3. 寸法スタイル (A1 S=1:1)

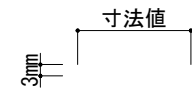
### 【寸法線】

- 色 ..... White
- 線の太さ ..... 0.09mm
- 寸法線延長長さ ..... 0
- 並列寸法の間隔 ..... 1.4mm



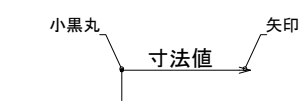
### 【寸法補助線】

- 色 ..... White
- 線の太さ ..... 0.09mm
- 補助線延長長さ ..... 0
- 基点からのオフセット ..... 3mm



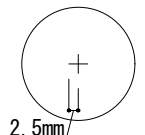
### 【矢印】

- 1 番目 ..... 小黒丸
- 2 番目 ..... 小黒丸
- 引出線 ..... 30度開矢印
- 矢印のサイズ ..... 3.0mm



### 【円の中心】マーク

- タイプ ..... マーク
- サイズ ..... 2.5mm

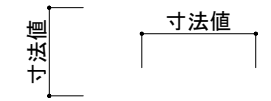


### 【寸法値の表示】

- 文字スタイル ..... inouemoji
- 文字の色 ..... White
- 文字高さ ..... 4.5mm (標準以外となる場合は、個別にて設定対応する)

### 【寸法値の配置】

- 垂直方向 ..... 上
- 水平方向 ..... 中心
- 寸法線からのオフセット ..... 0.6mm



### 【寸法値の配置】

- 寸法線の傾きに合わせる



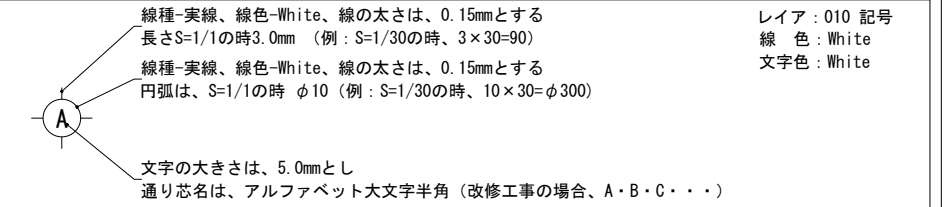
## 4. 文字スタイル

- 【スタイル名】 ..... inouemoji
- 【フォント名】 ..... MS ゴシック
- 【フォントスタイル】 ..... 標準
- 【文字高さ】 ..... 4.5mm
- 【幅係数】 ..... 1.0mm
- 【傾斜角度】 ..... 0mm

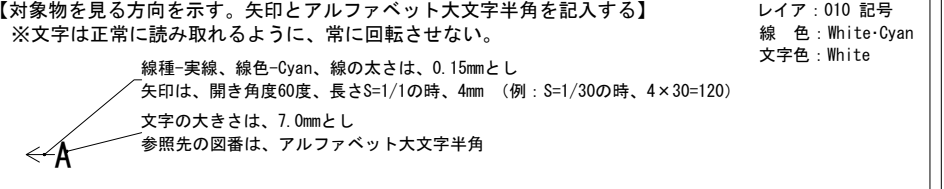
文字スタイル 記入内容

## 5. 図中記号スタイル (記号は A1 S= 1:1 の時を示す)

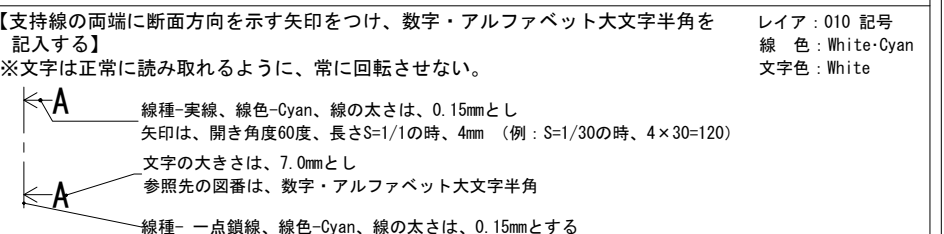
通り芯の表し方



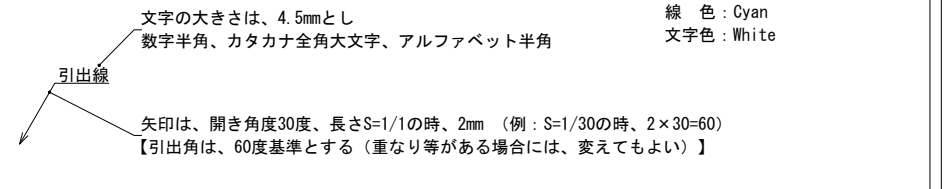
矢印図の表し方



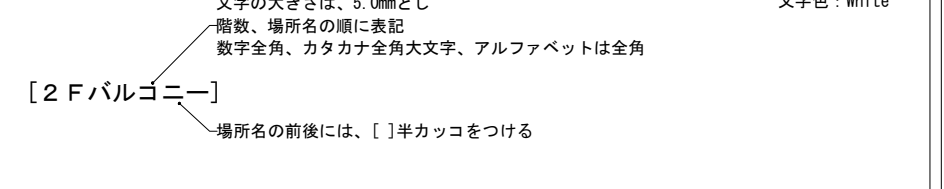
断面記号の表し方



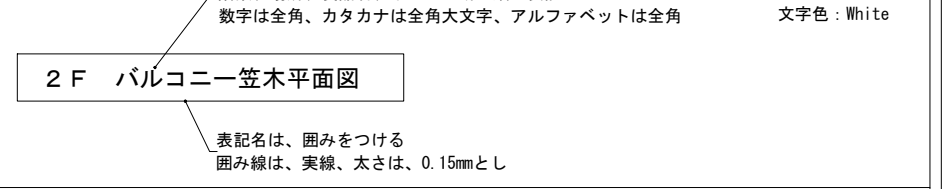
引出し線の表し方



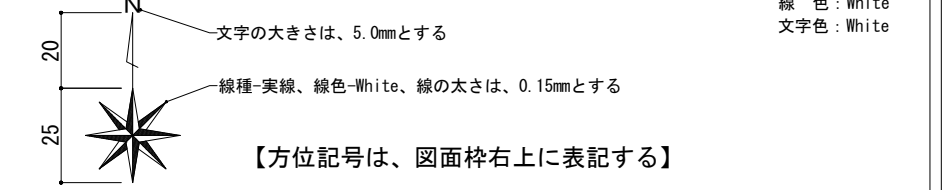
場所名の表し方



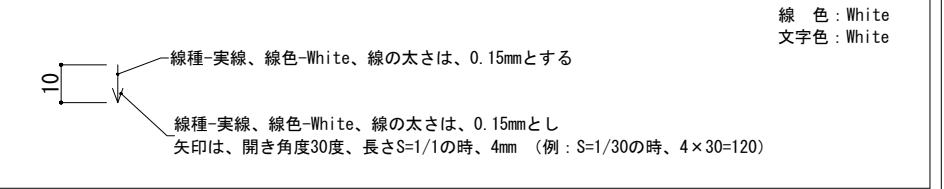
図名の表し方



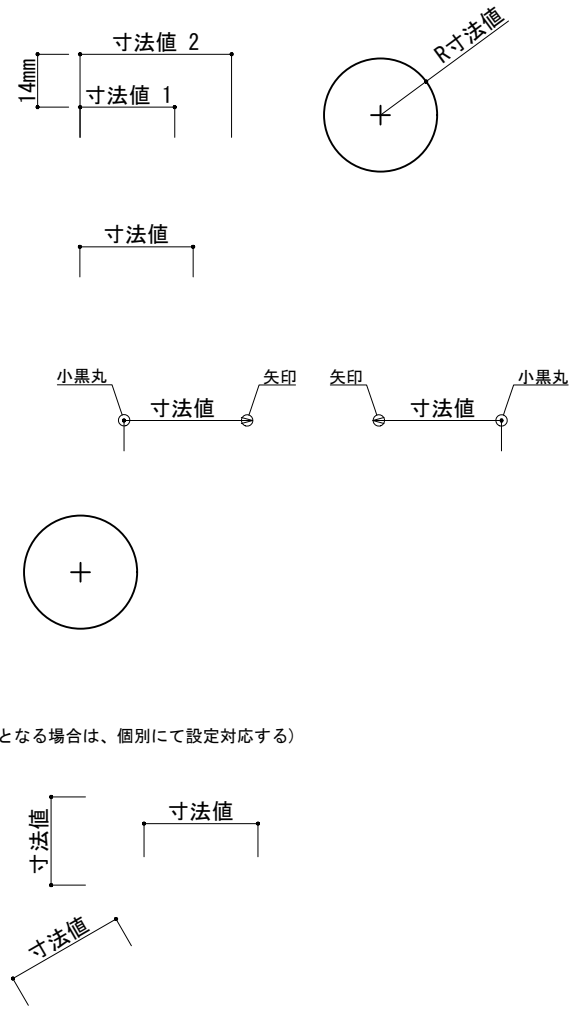
方位記号の表し方



水勾配の表し方



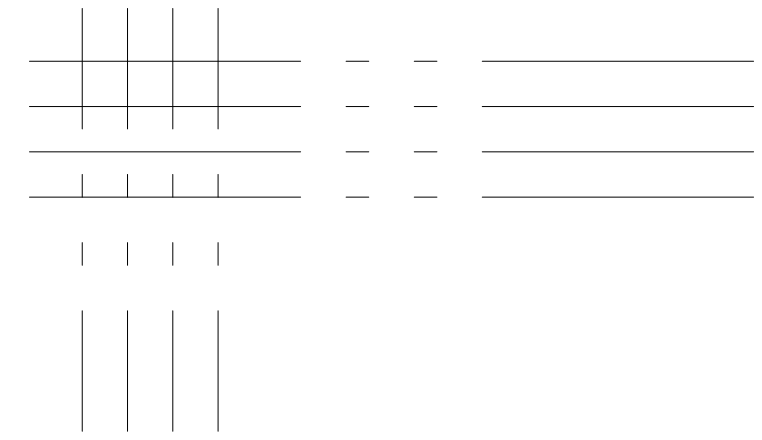
寸法スタイル (S=1:1)	
<b>【寸法線】</b>	
色	・・・White
線の太さ	・・・0.09mm
寸法線延長長さ	・・・0
並列寸法の間隔	・・・14mm
<b>【寸法補助線】</b>	
色	・・・White
線の太さ	・・・0.09mm
補助線延長長さ	・・・0
基点からのオフセット	・・・3.0mm
<b>【矢印】</b>	
1番目	・・・小黒丸
2番目	・・・小黒丸
引出線	・・・30度開矢印
矢印のサイズ	・・・3.0mm
<b>【円の中心】マーク</b>	
タイプ	・・・マーク
サイズ	・・・2.5mm
<b>【寸法値の表示】</b>	
文字スタイル	・・・inouemoji
文字の色	・・・White
文字の高さ	・・・4.5mm(標準以外となる場合は、個別にて設定対応する)
<b>【寸法値の配置】</b>	
垂直方向	・・・上
水平方向	・・・中心
寸法線からのオフセット	・・・0.6mm
<b>【寸法値の配置】</b>	
寸法線の傾きに合わせる	
<b>4. 文字スタイル</b>	
【スタイル名】	・・・inouemoji
【フォント名】	・・・MS ゴシック
【フォントスタイル】	・・・標準
【文字高さ】	・・・4.5mm
【幅係数】	・・・1.0mm
【傾斜角度】	・・・0mm



文字スタイル 記入内容

図中記号スタイル (S= 1:1)	
通り芯	
矢示図	
断面記号	
引出し線	
場所名	[ 2 Fバルコニー ]
図名	2 F バルコニー笠木平面図
方位記号	
水勾配記号	

並列寸法線定規 ... 12mm



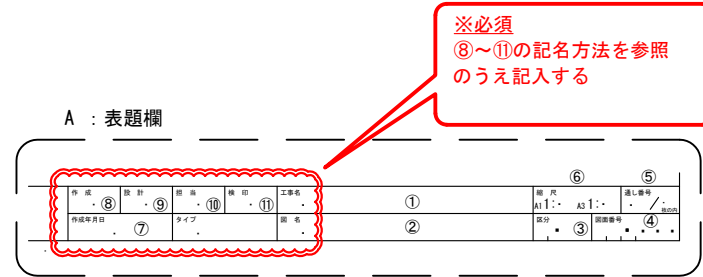
- 打合せ図
- 承諾申請図
- 参考図
- 承諾図
- 検討図



# 施工図 図面枠 表題欄の記入方法

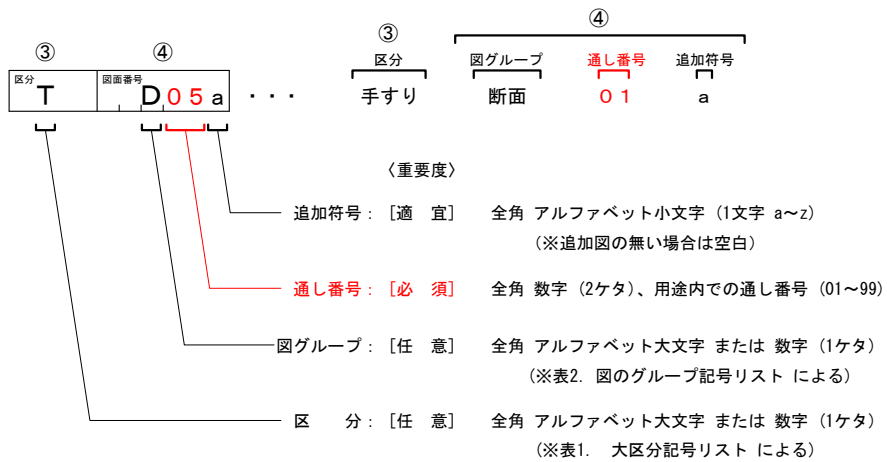
シルバーライン施工図の表題欄への記入方法は以下による。

- 用紙サイズは、A1サイズ を基準とする。(印刷出力は、A3 使用を前提とする)
- 図面様式は、A: 表題欄 及び B: 訂正欄 で構成する。
- 図面承諾を受ける際は、表紙に配置する表題欄に、顧客名、承諾日、承諾押印をもって



- ① 工事名 : 設計図書と整合された名称を記入する。
- ② 図名 : 主として示す図を名称とする。  
-1. 主とする図の名称を付ける。(割付図 または、下地図 または、断面図、他)  
-2. 取付け場所や部位の概ねを示す名を付ける。(取付けする: 面、棟、階数、他)  
[図名の例 : 1階・2階 平面割付図、A棟 南面 立面割付図(1)、など]
- ③ 区分 : 製品種類や建物の区画などプロジェクト管理上の区分を要する場合に記入する。  
「表1. 大区分記号リスト」参照により、区分記号(任意)で示す。
- ④ 図面番号 : 通し番号を記入する。  
また、通し番号と記号を適宜の組合せによる図面番号の管理を推奨する。  
「表2. 図のグループ記号リスト」参照。

## [区分 及び 図面番号の記入例①]



## [区分 及び 図面番号の記入例②]

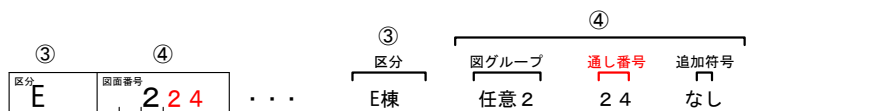


表1. 大区分記号リスト

記号	製品区分	記号	建物区分
T	手すり (隔板含む)	A棟	A棟
BL	BL認定手すり	B棟	B棟
K	笠木類 (曲げ笠木、水切、見切など含む)		
E	アイエスパンション	N	北面、N棟
ME	免震エキスパンションジョイント	E	東面、E棟
P	外装パネル類 (ISノンシールパネル、シールパネル、幕板、など)	W	西面、W棟
O	ルーバー、スパンドレル	S	南面、S棟
H	ひさし	I	I 工区
		II	II 工区

表2. 図のグループ記号リスト

グループ記号	図の種類	主な図名
—	表紙	工事概要、提出・CB履歴、承認欄、他
仕様	仕様書	
P	計画図 plan drawing	設計仕様書 キープラン、配置図、平面割付図、伏図 立面割付図、外観図、矩形図、断面図
D	断面詳細図 detail	基準断面図 部分詳細図
S	下地図 sitaji	下地配置図
B	部品図 buhin	部品アンカーリスト 部品図
1 ~ 9	任意のグループ	適宜のグループ分類

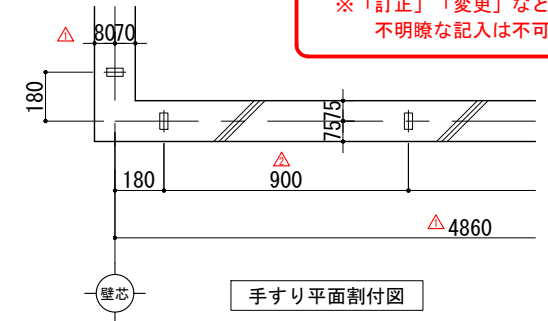
- ⑤ 通し図番 : 図面番号とは別に、通し番号と図面総数を示す  
※原則、決定図及び出図にのみ記入する。(作図途中の場合は記入不要としてよい)  
※設計途中打合せ (DR) の際は、提示する図面資料の頁数として表す。
- ⑥ 縮尺 : その図に、主として書かれている図の尺度を表す。  
(推奨尺度 1:1、1:2、1:3、1:5、1:6、1:10、1:20、1:30、1:50、1:60、1:100)  
※一つの図番に複数の図形と尺度を構成する場合は、主とする図の尺度のみ記入する。  
※主とする図以外の尺度は、図ごとに文字表示を付す。 [例 S=1:5]
- ⑦ 作成年月日 : 初回作成日の日付を「西暦」で示す。 [例 '22.08.01]  
※「元号」日付記入は禁止とする。
- ⑧ 作成 : 図面作成者 …製図とセルフチェックを担当する者を記入  
(※社外協力先の担当者名を含む)
- ⑨ 設計 : 営業担当者 …設計プロセスを担当する者を記入  
(※免震EXP. Jや特殊品の場合は、設計部の担当者とする)
- ⑩ 担当 : 営業担当者 …当該プロジェクトの営業窓口を担当する者を記入
- ⑪ 検印 : 営業担当者が属する事業所の所属長  
…設計仕様の審査検証 及び 妥当性確認により社内承認をする者を記入  
(※免震EXP. Jや特殊品の場合は、設計部の所属長とする)  
(※設計依頼書 (兼設計計画書) により、承認された後に記入する)

B : 改訂欄

訂正番号	訂正・変更事由	特記事項
訂正		
訂正		
訂正		
訂正		

- ⑫ 訂正 : 提出や出図の後、登録された図面を変更した場合は、変更箇所三角マークを入れる。  
※△の中に改訂番号を入れる、はじめは 1 とし、以降は順次数値を上げます。  
: 変更内容を図面枠左下に配置されている改訂欄に記入する。  
※改訂番号、日付、訂正又は変更事由を記入する。  
※改訂欄の最下行から上に順次記入する。

## [三角マークの記入例]



## [改訂欄の記入例]

訂正	訂正番号	日付	訂正・変更事由	特記事項
訂正	△	'22.08.17	1スパン追加に伴う支柱ピッチ寸法変更	1125mm⇒900mm
訂正	△	'22.08.01	躯体芯と手すり芯合せ	TOTAL寸法変更

- 承諾欄 : 顧客から施工図の承諾を受ける際、表示に配置された承諾欄に押印または、サインを記入しする。  
※承諾欄は、原則、表紙の右下に配置する。  
※承諾を受けた際には、スキャンデータをおこない決められた場所に保存する。  
※顧客からの要求がある場合は、承諾欄の書式を適宜変更してもよい。

